

インスタや YouTube でタートルトークにはまっています。ディズニーリゾートのアトラクションでウミガメがゲストと話す。決して相手をいやな気持ちにさせないアドリブが絶妙。最高だぜー！一度見てください。

令和5年2月21日(火)

文責 木宮 崇子

講演会に行ってきました。

先日、高城地区青少年育成協議会主催の講演会に行ってきました。講演者は水谷もりひと氏(日本講演新聞編集長)でした。仕事柄講演を聞く機会については恵まれていると感じます。講演会というのは、耳で聞き、目で講演者の表情やプレゼンを見、他の参加者の反応を感じ、メモをとり、あらゆる機能を使って講演の内容を自分に染みこませていくものですね。正に五感を使って学んでいる感じです。コロナ禍となり、オンラインの講演会などが流行っていますが、やはり、会場に足を運び、講演者を間近に見て話を聞くことは記憶と心に深く刻まれるものです。コロナ禍の休校をきっかけに「オンライン授業」というシステムが広がりました。そのうち学校の授業や講演会、会議はオンラインで済ますことができちゃう時代が来るのではないだろうかと切実に感じていました。タブレットの画面を通してお互いの表情を読み取ったり学ぶことはできますが、今ひとつ腑に落ちないのは、私が X 世代だからでしょうか。時代についていけないからなのでしょう。逆に Z 世代といわれている生徒たちは、私のこの感覚がわからないのではないのでしょうか。会場で聞いた講演は大変深い内容でした。便利で時代にマッチしたなオンラインという形。しかし、何かの画面を通さず、人と人が直接同じ会場の空気を吸いながら学ぶというのは、心に突き刺さるパワーが違う!と感じました。

さて、講演の中で「体はほっておいたら大人になるが、心はほっておいたら大人にならない。子どもに関わる大人次第。」と話がありました。人として大切な心は子どもがひとりでに身につくものではなく、周囲の大人の働きかけが大切。脳の栄養、魂の栄養を与えていきましょう。という話がありました。子どもが持っている素地に私たち大人が働きかけていくことが必要ですね。「勉強しない。」「言うことを聞かない。」「手伝いをしない。」などのつぶやきをよく聞きますが、大人としてどう関わっているのか、振り返ってみてください。最初からとてもお利口さんなこどもはそうそういないものですねえ。「どうすることがいい大人になるか」をちゃんと教えてあげる役割が私たちにはあるのではないのでしょうか。

立志の会

2月10日に2年生の立志の会がありました。立志をテーマにした行事では、各学校で様々な取り組みをするものです。講演会を開いたり、長い距離を歩いたり。今年の有水中の立志の会は「立志という節目で自分の人生の指針となる言葉を見つけ、自分のこれからについて目標を発表する。」「保護者から激励の言葉をかけてもらう。」というものでした。この「保護者から激励の言葉をかけてもらう」という企画は大変いいものでした。普段とは違うシチュエーションの中で保護者からかけてもらう言葉は違った聞こえ方がしたのではないのでしょうか。「あなたが大好きだよ。」「あなたは大切な存在だよ。」「目標を持って色々なことに取り組んでください。」「あなたを応援するよ。」「感謝の気持ちを持ち行動につなげてください。」などなどの言葉。心温まる大変いい立志の会となりました。参加してくださった保護者の皆様ありがとうございました。生徒の成長のきっかけとなりますように…。

次回の通信は本年度最後となります。卒業式の日発行いたします。返信は【この一年間】について感じたことを自由にお書きください。

久しぶりの返信のお願いです。いつものように「直接校長室に持って行くんだよ」と伝えてください。よろしくお願いします。

き り と り

年

生徒名

保護者名

[illegible]

